

北九州ロボットフォーラム

News Letter

発行日2008年1月1日

1

トピックス

- 国際ロボット展2007に出展しました
- 新ユニットのご紹介
- 北九州高専 ロボコン全国大会優勝
- 福祉・医療施設プロジェクト調査結果がまとまりました

目次:

事務局からのご挨拶	1
国際ロボット展2007	2
会員ニュース	3
福祉・医療プロジェクト	4
トピックス	4

ニュースレターの発行にあたって

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素より北九州ロボットフォーラムの活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

北九州ロボットフォーラムは、2006年3月に北九州地域のロボット産業振興を目指した産学官のネットワーク組織として設立しました。以来、会員数は順調に増加し、07年12月現在で127団体・個人の方々にご参加いただいております。

初年度は講演会・セミナーを中心に活動しましたが、2年目の今年度から、ロボット産業マッチングフェアの開催、国際ロボット展への出展など会員の皆様の技術を広くPRする活動や、福祉・医療施設におけるロボット技術の活用可能性調査とそれに基づく試作品づくりなど、より具体的な事業も開始しています。

さらに会員の皆様の活動状況やロボットに関する情報などを提供するために、このたびニュースレターを発行することにいたしました。今後3ヶ月に1回程度の割合で発行する予定にしておりますので、ぜひご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ロボットフォーラム事務局は、会員の皆様の事業の一層の発展のお手伝い出来るように努めてまいりますので、今後ともぜひご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。



国際ロボット展2007 盛大に開催

平成19年11月28日(水)～12月1日(土)まで東京ビッグサイトで開催された「国際ロボット展2007」に、北九州ロボットフォーラムもブースを設け、会員企業のロボットを展示しました。この国際ロボット展は隔年開催で、ロボットの展示会としては世界最大規模です。今回は期間中に、10万人を超える来場者があり、平日はビジネス関係者、土曜日は家族連れや学生で賑いました。



開会式のお手伝いをするSmartPal

迫力がある産業用ロボットゾーン



賑う産業用ロボットゾーン

展示は産業用ロボットとサービスロボットのゾーンに分かれています。産業用ロボットでは、安川電機、

ファナック、川崎重

工業など国内大手企業をはじめ、海外からもKUKAロボティクスジャパンやABBなどが出展し、大きなスペースを確保して最新鋭の機器のデモンストレーションを行い、見ごたえのある展示内容でした。

多彩なサービス用ロボットゾーン

「痛い」と発声して顔をしかめるなど、診療中の患者が受ける負担を再現できるココロの歯科実習用ロボット「シムロイド」を始め様々なロボットが展示されていました。



シムロイド

アクティブステージ

会場内のアクティブステージでは、常時製品の説明やデモンストレーションが行われていましたが、特に最終日は二足歩行ロボットの競技Robo-Oneが開催され、立錐の余地もない賑わいでした。



市内発ロボットも大好評

北九州ロボットフォーラムブース

～市内企業のロボット3台をご紹介～



最終日は家族連れで賑いました

建設、インフラ、重機、機械、メンテナンスなどの分野から多くの来場者があり、熱心に見学していました。技術や用途についての質問や要望も多く、展示会終了後には、具体的な引き合いのコンタクトもあったということで、今後のビジネスへ発展することが期待されます。

【北九州ロボットフォーラム展示品目/企業名】

下水道管渠検査ロボット「もぐりんこ」/榊石川鉄工所
遠隔制御ロボットを低価格で構築できるツールと評価用ロボット / 株式会社九州エレクトロニクスシステム
マルチ自走式配管検査ロボット
新日本非破壊検査(株)、フジコー(株)、株式会社九州エレクトロニクスシステム、九州工業大学、早稲田大学、福岡県機械電子研究所

ロボット産業振興会議ブース

ロボット産業振興会議のブースでもテムザックのロボリアや、RIDC、パロなどが家族連れに人気でした。





新ユニットのご紹介～R2C-Unit (株)テムザック

(株)テムザック(本社小倉北区:高本陽一代表取締役社長)は、保有する通信制御技術をユニット化したtmsuk「R2C-Unit」を、国際ロボット展2007のマイクロソフトブース()において発表・展示し、注目を集めました。

「R2C-Unit」の特徴のひとつとして、同社製ロボットでなくてもMicrosoft Robotics Studioと「R2C-Unit」を融合させることで、さまざまな製品と接続させることが容易となり、高い技術を持つ大手企業だけでなく、幅広い創造性をもつベンチャー企業まで容易に製品販売化できるようになります。「R2C-Unit」は、同社が日本とアメリカで取得している「移動体通信を使用した遠隔操作特許」を独占するのではなく、ユニット化した製品にすることで開放し、幅広く活用してもらうことで、画像・音声・力による「三次元コミュニ



「R2C-Unit」
国際ロボット展ではLEGO社製マインドストームに搭載

ケーション」を全世界に広げ、より実用的な分野で、使用してもらうために開発されました。

今後販売事業化を
めざします。

テムザックとマイクロソフト(株)(本社東京都渋谷区:ダレン・ヒューストン代表取締役社長)は本年9月にロボティクス技術を構成するソフトウェア技術の迅速な用途開発や事業化、国際展開をすることで協業することを発表しています。

(株)テムザック 連絡先

〒803-0851 北九州市小倉北区木町1-7-8
電話:093-581-5353 FAX:093-581-3521
E-mail: pr@tmsuk.co.jp
URL <http://www.tmsuk.co.jp/>



北九州高専チーム 高専ロボコン全国大会で優勝!

平成19年11月25日に東京・両国国技館で開催された「高専ロボコン2007全国大会」で、北九州工業高等専門学校(小倉南区志井:陣内靖介校長)チームが見事に優勝を果たしました。全国大会優勝は02年に続き2度目です。

高専ロボコンは、全国から61校62キャンパスの高専が参加する全国規模のイベントで、今年で20回目を迎えました。全国大会では地区予選を勝ち抜いて選抜された25チームが競技をしました。

ロボコンは、毎年4月に競技のルールが発表され、各チームはそのルールの中でアイデアを練りロボットを作り上げます。今年のテーマは「風林火山 ロボット騎馬戦」で、1チーム計5本の旗をもち白に分かれて対戦します。勝利のためにはロボットの



ロボット「くるぼん」

敏捷性、耐久性、更には戦略も重要な鍵となります。北九州高専の優勝チーム「くるぼん」は上下運動が可能な細い腕で、最高2mの高さにある旗を奪うことができます。



北九州高専チームと北橋市長

12月19日には、北橋北九州市長へ優勝報告を行いました。

北橋市長は「ロボットをテーマにした夢あふれる取り組みを通じて、皆さんが将来「モノづくりのまち北九州」を支える人材となっただけのよう、応援しています。」と語り、メンバーは、「ロボコン大賞をめざして、これからも技術をますます磨き、アイデアを活かしながら、後輩への技術伝承も行っていきたい」と抱負を述べました。



福祉・医療施設プロジェクト調査結果がまとまりました

福祉・医療施設に関する調査について、皆様からご協力をいただきありがとうございました。調査結果は下記のとおりです

1 調査期間

平成19年10月22日(月)～11月2日(金)

2 調査対象 北九州ロボットフォーラム会員

3 回答数 33件

内訳:企業23社、大学・研究機関等10機関

4 プロジェクト参加希望(複数回答有)

・参加したい 20件

・検討を要する 8件

・参画しない 6件

5 参加したい要素技術(複数回答有)

・移動8件 作業8件 音声会話6件

センサビジョン9件 その他7件

6 今後の取り組み

(1)下記の2件については、今年度中に試作品づくりを行います。

介護福祉施設をターゲットとした会話型ロボットの試作

・委託期間 08年1月～3月

・開発メンバー

KITHIT(音声対話)、武田電子工業(周辺制御)、

木原鉄工所(モーション、メカ設計・製作)、

しまだ福祉用具研(福祉全般アドバイス)

介護福祉利用者の健康維持や娯楽に活用できるコンテンツ開発

・委託期間 08年1月～3月

・開発メンバー しくみデザイン(コンテンツ制作)

九州工業大学HITセンター(技術指導)

(2)アンケート回答者のうち、参加ご希望者を中心に研究会を開催しました。

トピックス



第2回実証・技術合同部会を開催

平成19年10月31日～11月2日の3日間、北九州学研都市において、第7回産学連携フェアが開催され、1万人を超える来場者で賑いました。

展示会場では、魚ロボットの展示を始め、スーパー並列プロセッサ

Cell Broadband

Engine体験コーナー

などが人気を集めました。

また期間中の10月

31日に、「極限環境

ロボット最前線」の

テーマで部会を開催し、約100人の参加者がありました。



魚ロボット展示

九州工業大学ロボット 大口ロボット博で披露

平成19年10月23日～20年1月27日まで、東京上野の国立科学博物館で開催されている「大口ロボット博」において、九州工業大学は研究開発中のロボットを多数展示しています。

また、11月16～18日、12月7～9日には「九工大の日」として展示ロボットのデモンストレーションを行い、多くの来場者の注目を集めました。

甘利経済産業大臣(1番左)もデモを見学



北九州ロボットフォーラム バインダー資料をご提供ください

国際ロボット展に先立ってご協力をお願いしておりました会員ご紹介資料について、ロボット展の来場者に好評で、他の会員企業の情報もほしいという要望が寄せられています。

資料は随時募集しておりますので、ご協力いただければ幸いです。ご質問などございましたら、事務局までご遠慮なくお尋ねください。お待ちしております。



編集・発行

「北九州ロボットフォーラム事務局」

北九州市産業学術振興局新産業振興課 / (財)北九州産業学術推進機構ロボット開発支援室

連絡先: 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1 電話: 093-695-3085 FAX: 093-695-3525

E-mail: robotics@ksrp.or.jp

URL <http://robotics.ksrp.or.jp/robotforum/>